

平成 30 年度広報推進協議会 第 1 回会合議事次第

1. 日 時 平成 30 年 7 月 23 日 (月) 13 時 00 分～14 時 30 分

2. 場 所 国土交通省国土地理院 関東地方測量部 大会議室
(九段第 2 合同庁舎 8 階)

3. 議 事

(1) 今年度の具体的な取り組み

1) これまでの取り組み

2) 今後の広報活動の推進 (案)

3) 調整ワーキンググループの設置 (案)

(2) 各団体の平成 30 年度広報活動の取り組み

(3) その他

【配付資料】

議事次第、 構成員名簿、 配席表

資料 1 これまでの取り組み

(別紙) ホームページの改良

資料 2 今後の広報活動の推進 (案)

資料 3 調整ワーキンググループの設置 (案)

資料 4 各団体の平成 30 年度広報活動の取り組み

広報推進協議会構成員

海老名頼利	(一社)全国測量設計業協会連合会	事務局長
富永 伸樹	〃	(一社)群馬県測量設計業協会 会長
宮山 博文	(一財)測量専門教育センター	事務局長
土田 俊行	〃	(中央工学校 教務部長)
稲垣 秀夫	(一社)地図調製技術協会	専務理事
岩崎 昇一	〃	理事・事務局長
岩田 邦雄	(公社)日本測量協会	総務部長
林 保	〃	測量技術センター 参事役・管理部長
斉藤 和也	(公財)日本測量調査技術協会	専務理事
津沢 正晴	〃	理事・事務局長
百成 了一	(一財)日本地図センター	理事・流通事業部長
松本 治夫	〃	総務部長

山内 正彦	国土交通省国土地理院	参事官
奥山 祥司	〃	企画部 地理空間情報活用推進分析官

アドバイザー
鹿田 正昭 金沢工業大学 副学長

オブザーバー
天野 聡 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課
専門工事業・建設関連業振興室 企画専門官

※ 敬称略

これまでの取り組み

1. ポスター及びリーフレットの作成

測量や地図作成業界をイメージアップし、業界の担い手確保を目的とするため、就職活動者等をメインターゲットとして、測量や地図作成の仕事の魅力を伝え、測量や地図作成業界への就業を促すためのポスターデザインコンペを実施した。ポスター及びリーフレットの図案はスタイリッシュなものに変更し、構成員及び学校関係者やイベント等において配布した。

① ポスター（リーフレット表面）

測量・地図作成業界の役割のキャッチコピーを『「測る」「描く」「解決する」』として、やりがいがあり、かつ将来性のある業界であることを訴求する図案とし、提示された12点から、各構成員及びリーフレット作成にご協力いただいた若手社員等の皆様からの投票により決定した。

- ・キャッチコピー『「測る」「描く」「解決する」』
- ・広報推進協議会 QR コードの追加

(最終版)



(提示された12点)



② リーフレット裏面

- ・デザインをスタイリッシュに更新
- ・説明文の変更
- ・先輩からの一言の更新
 - 「測る」・・・(株) 北日本ジオグラフィ
 - 「描く」・・・東京カートグラフィック (株)
 - 「解決する」・・・東日本総合計画 (株)



③ 配布状況等

- ・作成部数 リーフレット 30,000 枚、 ポスター1,000 部
- ・構成員配布数 (一社) 全国測量設計業協会連合会 10,000 枚、 100 部
 (一財) 測量専門教育センター 4,500 枚、 65 部
 (一社) 地図調製技術協会 1,000 枚、 30 部
 (公社) 日本測量協会 5,000 枚、 50 部
 (公財) 日本測量調査技術協会 500 枚、 3 部
 (一財) 日本地図センター 1,000 枚、 5 部
 国土交通省国土地理院 8,000 枚、 747 部
- ・国土地理院からの配布
 - ・大学、短大、高専への配布 (323 校)
 - (測量に関する科目を修め測量士補となる資格を有する学校等へ配布)
 - ・地方測量部等 (学生向け就活イベントや関連イベントで配布)
 - ・ジオ展 (平成 30 年 4 月 20 日(金): TKP ガーデンシティー渋谷)
 - (地理空間情報関連の企業による共同イベントで採用イベントを同時開催)
 - ・第 47 回国土地理院報告会 (平成 30 年 6 月 6 日 (水))

2. ホームページのリンク掲載依頼

リーフレットを配布した大学等 (323 校) へ、各大学等の学生向け専門サイト等へのリンク掲載を依頼した。

3. ホームページの改良 (作業中)

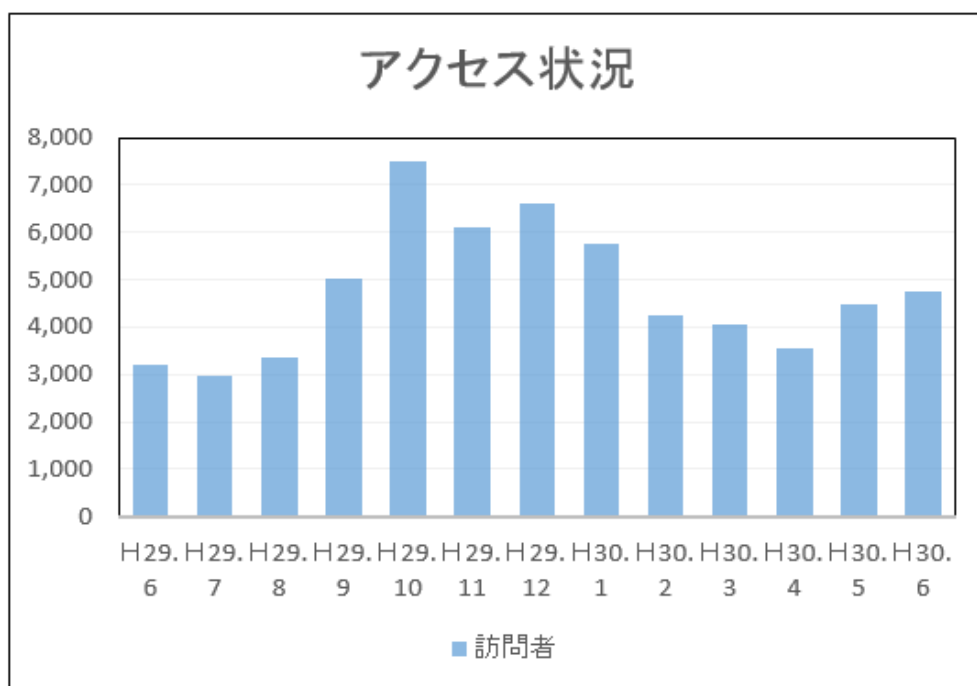
コンテンツの追加、リンク項目の充実、イベント情報の充実など (別紙、参照)

(参考) ホームページのアクセス

(ホームページの更新履歴)

H29. 6. 1 ホームページ開設
 H29. 6. 6 イベント情報掲載
 H29. 7. 4 イベント情報掲載
 H29. 7. 19 イベント情報掲載
 H29. 9. 26 パネルディスカッション案内
 H29. 10. 16 イベント情報掲載
 (H29. 10. 16～パネルディスカッション
 の新聞報道)
 H29. 12. 12 パネルディスカッション
 の動画公開
 測量に必要な資格の更新
 H30. 5. 21 イベント情報掲載
 H30. 5. 22 H31 リーフレット公開

年月	訪問者
H29. 6	3,194
H29. 7	2,968
H29. 8	3,359
H29. 9	5,030
H29. 10	7,488
H29. 11	6,086
H29. 12	6,624
H30. 1	5,760
H30. 2	4,251
H30. 3	4,057
H30. 4	3,552
H30. 5	4,493
H30. 6	4,761
計	61,623



ホームページの改良

測量・地図作成業界に関心をもつ学生等に、業界の事業・職種の多様性をより理解してもらうため、コンテンツの追加、リンクの充実、イベント情報の充実を図る。

1. コンテンツの追加

（１）事業や製品等の活用

測量・地図作成業界の事業や製品等を紹介しつつ、測量の果たす役割や重要性についての理解を促す。事業や製品の紹介のみならず（製品等のPRではなく）、各種事業や製品等がどのように役立っているのか、測量・地図作成業の技術・知識がどのように活かされるかについて理解される内容とする。

（例：固定資産税土地評価業務、土木施設構造物の変動量調査など）

（２）職種紹介

営業、開発等を含む測量・地図作成業界の業務（職種）について紹介し、様々な職種があることの理解を促す。この職種ならではの魅力、何をする（何を作る）ための職種なのか、この職種に就くに当たってはどのような勉強をしておくといいか等も紹介する。（例：営業、研究開発、GISソフトプログラマーなど）

※ 1. 「コンテンツの追加」の具体的な進め方

① 各団体での集約（9月上旬）

- ・この業界の事業・職種の多様性をより理解してもらうために掲載するべきと思われる事業等の題材を、各団体で集約し事務局へ送付する。
- ・その際、各団体内で同様な事業等が提案された場合は、一つに絞る。

② 掲載事業等の決定（9月上旬）

- ・調整ワーキンググループにおいて、提案された題材を基に、ホームページに掲載する事業等の種類と、個々の説明文等（説明文及び写真（又はポンチ絵）。以下同じ）を作成する担当団体を個々に決定する。

③ 説明文等の作成（10月上旬）

- ・各担当団体（各団体やその会員企業）は、担当する個々の事業等の説明文等を作成し、事務局に提出する。
- ・なお、説明文等は、会社色を出さずに一般的な説明とし、300～600字程度とする。

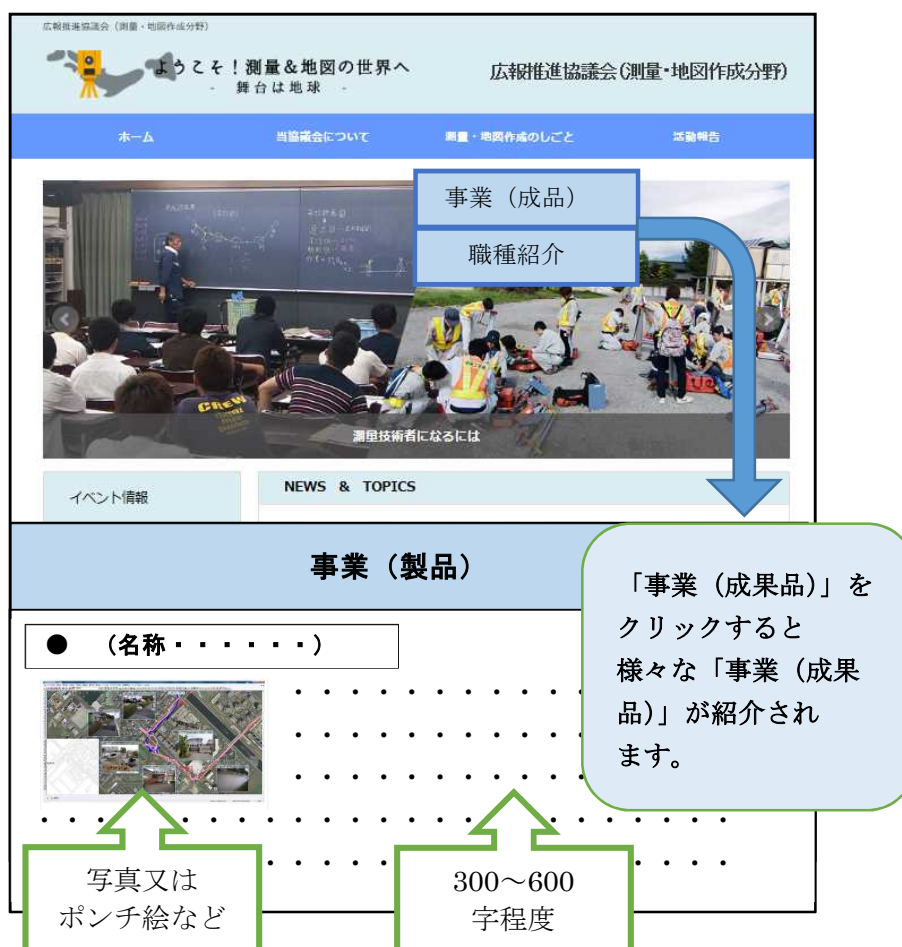
④ 説明文等の修正（10月中旬）

- ・調整ワーキンググループにおいて、各説明文等の統一感等の調整（修正）を行う。
- ⑤ ホームページの改良作業（10月下旬～12月）
 - ・事務局において、ホームページの更新作業を行う。

《作業スケジュール》

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事業等の活用						
① 各団体での集約		←→				
② 掲載事業等の決定			●			
③ 説明文等の作成			←→			
④ 説明文等の修正				←→		
⑤ HP改良作業					←→	←→

（イメージ図）



（３）企業情報

就職活動者等の企業情報収集を支援するため、掲載を希望する企業の連絡先やホームページ URL 等の情報を地域別・都道府県別・五十音順に掲載する。

※ 具体的な進め方

- ① 各団体での集約（８月中）
 - ・各団体において、掲載を希望する会員企業毎のデータ（Excel 等）を事務局に提出する。
- ② ホームページの改良作業（９月～１０月）
 - ・事務局において、ホームページの更新作業を行う。

（イメージ図）



北海道

	会 社 名	住 所	電 話
あ	アジア・・・(株)	〒北海道・・・	000-000-0000
か			

東北 (青森県)

	会 社 名	住 所	電 話
あ	朝日・・・(株)	〒青森県・・・	000-000-0000
か			

2. リンクの充実

測量・地図作成業界の女性活躍や地図や空中写真などについて国民の関心を高めるためのサイトについて、各団体からの推薦を元に、バナーを貼りリンクする。

例)

- ・日本測量協会の「女性の技術力向上委員会」 <http://www.jsurvey.jp/jg.htm>
- ・日本地図センターの「地図博士の部屋」 <http://www.jmc.or.jp/faq/faq.html>
- ・国土地理院の「出前講座」 <http://www.gsi.go.jp/DEMAE/demae.htm>

《今後のスケジュール》

実施内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. コンテンツの追加									
① 事業・製品等の活用		←→	←→	←→	←→	←→			
② 職種の紹介		←→	←→	←→	←→	←→			
③ 企業情報	←→	←→	←→	←→					
2. リンクの充実	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
その他									
リーフレット・ポスターの提供	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
リーフレット・ポスターの意見募集							←→	←→	←→
HPによる広報協力	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
イベント開催への支援	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→	←→
	←→ 募集期間			←→ 更新作業期間					

注：1. ③の企業情報については、早期公開できるよう作業を進めるものとする。

今後の広報活動の推進（案）

測量・地図作成業界の魅力を発信し、業界の担い手確保を目的とするため、新たな企画の検討及びその実現に向けた取り組みを行う。

○イベントで測量・地図作成業界の魅力を発信

- ・ 高校、高等専門学校、大学等に、測量・地図作成業界の魅力を伝える内容とした講演会や体験学習を実施
- ・ 地方を含めた測量・地図作成に関連する就職活動イベントにおいて、測量・地図作成業界のPR（講演、ビデオ上映、リーフレットやチラシ配布など）を実施

○HP、SNSの活用した測量・地図作成業界の魅力を発信

- ・ Twitterによる測量・地図作成業界のイベント周知等、SNSの活用
- ・ ホームページのスマホ用対策のためのリニューアル
- ・ 人の顔の見える広報とするため、測量・地図作成業界で活躍している技術者の魅力ある事例の収集
- ・ 関連企業の測量・地図作成業界等の紹介ビデオ（企業ビデオ）へのリンク

○関連団体との協力

- ・ 近代測量150年記念事業推進会議などと協力しながら、測量・地図作成の役割や重要性を国民に周知

調整ワーキンググループの設置（案）

広報推進活動の一層の充実を図るための新たな企画提案やその具体化、これらの実現に向けた取り組みを検討する際に、各団体の担当者が、必要の都度随時会して打合せ（意見調整）ができる場を設ける必要があるため、「広報推進協議会設置要領」第7条に基づき「調整ワーキンググループ」を設置する。

※ 参考：「広報推進協議会設置要綱」（抜粋）（ワーキンググループ）

第7条 協議会には、個別の具体的な取組の検討及びその実施のため、個別の課題毎にワーキンググループ（以下「WG」という。）を設置することができる。

2 WGの検討内容、構成員その他必要な事項は、協議会において定める。

調整ワーキンググループ構成員メンバー表（案）

氏 名	所 属 等
海老名 頼利 藤澤 浩昭	（一社）全国測量設計業協会連合会
宮山 博文	（一財）測量専門教育センター
岩崎 昇一	（一社）地図調製技術協会
岩田 邦雄 木下 信也	（公社）日本測量協会
津沢 正晴	（公財）日本測量調査技術協会
松本 治夫	（一財）日本地図センター
山本 洋一 栗久保 優	国土交通省国土地理院

(一社) 全国測量設計業協会連合会

各団体の平成 30 年度広報活動（イベント等）の取り組み予定について

- ・ 広報推進協議会としての後援等の可能性のあるものを含む
- ・ 広報推進協議会ホームページに掲載を希望する可能性のあるもの
- ・ 広報推進協議会リーフレットを配布する予定のイベント等

全測連の対応状況は、下記の通り。

鳥取県測協が 6 月 26 日測量技術講演会時に 300 部配布。

全国 44 都道府県測協事務局に各 150 部合計 6600 部配布済。

建設関連業(建コン、全測連、全地連)イメージアップに向けた学校説明会実施予定

国土交通省ホームページに建設関連業の社会的認知度向上のための取り組みを掲載

7/18 に総務広報委員会開催され、今年度の取り組みが決定予定。

平成30年7月23日

(一財) 測量専門教育センター

平成30年広報活動の取り組み (案)

- 測量専門教育センターの広報活動
 - ・「測量の日」関連行事の中で、関連団体と連携・協力しながら実施する。
 - ・昨年、「G空間EXPO2017」のイベントにおいて、若手社員による座談会に測量専門学校の教員が参加しており、今年度にあっても、色々な機会に参加していきたい。

- 測量専門養成施設の広報活動の紹介
 - ・高校生を対象とした体験入学や学校説明会の実施。
 - ・保護者を対象とした学校説明会や業界の説明会を実施。
 - ・社会人を対象とした学校説明会（夜間・休日）を実施。
 - ・高校生を対象とした出前講座や測量士補模擬試験を実施。
 - ・教員による高等学校訪問を実施し、担任の先生や進路指導担当者に就職状況や卒業後の進路などを説明。
 - ・実際の仕事を体験（見て、触れて、感じる）させることをテーマとした広報活動を実施。

平成30年度広報活動の取り組み

1 測量の日実行委員会事務局等としての活動

- ①ポスター(21,000)、パンフレット(39,000)作成。関係府省、自治体、関係団体等約300箇所に配布。
- ②建設関係専門紙(3紙)への広告記事掲載。他の建設関係専門紙への記事掲載。
- ③記念グッズの作成、測量業者等への実費販売(今年度は下敷き 約2.9万枚)
- ④国土地理院科学館での講演会講師

(終了)

- ⑤G空間EXPOでの「測量の日」関連の広報活動(11月予定)
 - ⑥その他、各支部において「測量の日」関連行事(講演会、展示など)実施
- (ほぼ終了)

2 測量・地理空間情報イノベーション大会の開催

- ①平成30年6月19～20日、東京大学、1999名参加
 - ②主として測量技術者を対象
 - ③詳細は別紙資料、専門紙記事
- (終了)

3 夏のリコチャレに参加

「理工チャレンジ」略して「リコチャレ」。内閣府等の取り組み

理工系分野に興味がある女子中高生・女子学生の皆さんが、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取り組み。

理工系分野が充実している大学や企業など『リコチャレ応援団体』の紹介や、団体が実施するイベント情報の提供、理工系分野で活躍する女性からのメッセージ紹介などを行っている。(内閣府HPより)

日本測量協会に設置している「測量・地理空間情報女性の技術力向上委員会」(ソクジョの会)が下記の「学生のための建設産業界体感イベント」に参加し、学生に測量・地理空間情報の仕事の魅力等について紹介する。

- ①平成30年8月9日（木）、日本大学理工学部（お茶の水）
- ②建設通信新聞社・日本大学理工学部共催、国土交通省、日本測量協会等関係団体が後援
- ③詳細は別紙資料

4 G空間EXPO2018／地理空間情報フォーラム2018 の開催

- ①平成30年11月15～17日、日本科学未来館
- ②一般対象
- ③詳細は別紙資料

第4回「測量・地理空間情報イノベーション大会」 開催のご案内

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを利活用した新事業の展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、昨年に引き続き第4回「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催します。

■主催：公益社団法人 日本測量協会
(日本学会会議協力学術研究団体)

■共催：スペシャリストの会
(空間情報総括監理技術者の会：SPの会)
ジオメトリストの会
(地理空間情報専門技術者の会：GMの会)

■後援：国土交通省 国土地理院

■日時：平成30年6月19日(火)～20日(水)

■会場：東京大学伊藤国際学術研究センター
(東京都文京区本郷7-3-1)
・伊藤謝恩ホール (B2F)
・多目的スペース (B2F)
・ギャラリー1 (B1F)
・ギャラリー2 (B1F)

■当協会支部への同時中継：

伊藤謝恩ホールでの講演は当協会各支部(関東を除く9支部)に同時中継されます。支部会場にて受講も可能です。

東京大学伊藤国際学術研究センター



■アクセス：東京メトロ丸ノ内線
「本郷三丁目」駅下車 徒歩8分
：都営地下鉄大江戸線
「本郷三丁目」駅下車 徒歩6分



平成30年6月19日 (火)

時間	伊藤謝恩ホール	多目的スペース	ギャラリー1	ギャラリー2
10:00-10:15	主催者挨拶・後援挨拶(ホール)			
10:15-12:00	地理空間情報技術の最前線	航空レーザ測深(ALB)とその利用	GNSSとその利用	ベンダーフォーラム①
	3次元測量・地理空間情報ビジネスの最前線 (合)スパーポイントリサーチ 河村 幸二	インフラモニタリング(橋脚基礎)へのALBの活用について (株)パスコ 小澤 淳真	GNSSとQZSS4機体制 公社)日本測量協会 木寺 幸司	(株)アミューズワンセルフ ドローンレーザ測量の事例紹介
	3D空間情報技術の実利用 国際航業(株) 村木 広和	沿岸域における航空レーザ測深の適用 国際航業(株) 福島 昇	準天頂衛星データ配信の最前線 (株)ジェノバ 細谷 素之	エアロセンス(株) AEROBO測量2.0とAEROBOマーカの進化
		九頭竜川におけるALBを用いた定期横断測量への取り組み事例の紹介 アジア航測(株) 戸村 健太郎	高精度測位補強サービスのグローバル展開に向けて グローバル測位サービス(株) 五百竹 義勝	(株)快適空間FC UAV搭載型レーザ計測の現状と課題
		河川水質がALBの測深性能に与える影響 朝日航洋(株) 森本 洋一	屋内PNT (Position, Navigation, Timing)の実現を目指す 一社)屋内情報サービス協会 松岡 繁	ジオサーフ(株) senseFly UAV製品および事例紹介
		河道掘削工事におけるALBの活用事例 中日本航空(株) 外山 康彦		リーグルジャパン(株) ハイエンドモデル UAVレーザ/地上型レーザの最前線
12:00-13:00	昼休み			
13:00-14:00	基調講演 データ基盤から解析基盤へ～インフラとしての地理空間情報技術～ 東京大学 布施 孝志	休室		
14:00-15:00	休室	ポスターセッション①	休室	
15:00-17:00	準天頂衛星の最前線	UAVレーザ測量とその利用	最前線技術を担う女性技術者	ベンダーフォーラム②
	準天頂衛星システムの概要と利活用 準天頂衛星システムサービス(株) 神藤 英俊	UAV搭載型レーザスキャナを用いた公共測量マニュアル(案)等について 国土地理院 齋藤 俊信	趣旨説明:女性の技術力向上委員会 杉森 純子 司会:東野 紫、渡辺 美紀	アイサンテクノロジー(株) 3次元点群を用いた生産ワークフローを徹底追究
	準天頂衛星による新たな測位マゼランシステムズジャパン(株) 岸本 信弘	UAVレーザ測量の最前線 ルーチェサーチ(株) 渡辺 豊	これからの現地測量技術を担う (株)こうそく 池内 香	(株)イメージワン 写真測量ソフトウェア Pix4Dmapperのご紹介
	準天頂衛星の新たな利用への期待 一財)衛星測位利用推進センター 松岡 繁	防災分野への利用 中日本航空(株) 中舎 哉	空間情報計測と三次元解析技術を担う (株)ふたば 郡部ハリス 幸菜	東京カートグラフィック(株) 1/50万日本地図データのご紹介
		UAVレーザ計測と地上レーザ計測との融合 (株)みずす総合コンサルタント 高藤 亨仁	空間情報の市場を担う 中日本航空(株) 笠 けやき	(株)ニコン・トリンブル Trimble SX10を利用した効率的な3次元地形測量
17:30-19:00	休室	懇親会	休室	



ホール室内



ギャラリー室内

平成30年6月20日 (水)

時間	伊藤謝恩ホール	多目的スペース	ギャラリー1	ギャラリー2
10:00-12:00	測量界の社会貢献(防災分野)	3D地形データ構築とその利用	測量技術者が技術士(建設部門)を取得するために	地域企業の技術支援対策
	防災分野における国際貢献 一仙台防災枠組に地理空間情報の重要性が入るまで 国際航業(株) 呉 文 繡	データ構築における精度管理と課題 (株)タックエンジニアリング 千葉 一博	測量技術者が技術士(建設部門)を取得するために スぺシャリストの会 林 義政	本当はスゴい! 中小企業支援策を賢く使う! 中小企業診断士 椿本 聡
	国土地理院ランドバード活動と社会貢献 国土地理院 田山 裕二	i-Constructionでの利活用事例 アジア航測(株) 渡辺 智晴	測量技術者が技術士(建設部門、道路)を取得するために (株)パスコ 岡本 芳樹	小型LiDAR センサー導入による「高密度地形データ提供サービス」の拡充 (株)エムアールサポート 北斗測量調査(株) 榎本 幹也
		構造物調査等での利活用事例 (株)パスコ 小澤 淳真	測量技術者が技術士(建設部門、河川、砂防及び海岸・海洋)を取得するために アジア航測(株) 戸村 健太郎	ハイブリッド点群の研究とその活用 (株)エムアールサポート 森 警光
	熊本地震の活動報告 一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会 吉田 史朗	防災分野での利活用事例 (株)ティコク 市橋 利裕	測量技術者が技術士(建設部門、都市及び地方計画)を取得するために 朝日航洋(株) 高梨 勝弘	新連携で挑戦! RPA活用による自動化システム (株)BEXA 小平 雄太
		設計分野での利活用事例 (株)アスコ大東 原田 耕平	測量技術者が技術士(建設部門、建設環境)を取得するために 国際航業(株) 今井 靖晃	地域企業の技術支援対策 CSGコンサルタント(株) 安藤 港増
12:00-13:00	昼休み			
13:00-15:45	他分野の測量を知る 一測量サミットへの序奏一	13:00 - 14:15 ポスターセッション②	話題の利活用技術	人材確保・人材育成
	地籍分野における測量 (株)森下測量設計 千葉 二		エンターテインメントと空間情報～『シン・ゴジラ』における地形モデルの活用～ アジア航測(株) 山口 由美子	大学への広報活動 女性の技術力向上委員会 服部 たえ子
	森林分野における測量 (株)ジッタ 宮内 建史		テレビ番組への利活用(NHK『屋久島・伝説の超巨大杉』) NHK 井田 彰彦	地域における測量教育活動 (公社)千葉県測量設計業協会 横打 研
		14:15 - 15:45	「凸凹地図」によるエンターテインメント～地形表現技術の利活用～ (株)東京地図研究社 塚田 野野子	産学連携による人材育成の取組み (公社)日本測量協会 赤塚 祐一
	トンネル分野における測量 (株)熊谷組 稲田 正毅		パネルディスカッション: これからの3D地形データとその展望	パネルディスカッション: マスコミを通じた世間へのアプローチ
			司会: GIS_NEXT 遠藤 宏之 パネラー: NHKエデュケーショナル 林 幹雄 漫画家 衿沢 世衣子 洋泉社 雨宮 郁江 地図・地理芸人 小林 知之 測量ファン 小金井 美和子	パネルディスカッション: 人材確保・育成の取組み
15:45-16:00	文化遺産等における3次元データの取得と活用 (株)計測リサーチコンサルタント 安井 伸頭	これからの3D地形データとその展望 ジオメトリストの会 鈴木 寛 道路分野における3Dデータ作成と利用における課題 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング 深澤 雅人 MMSによる出来形測量の可能性 (株)安藤・間 黒台 昌弘 三次元地形データ作成における留意点と課題 アジア航測(株) 山崎 廣二	まとめ・閉会(ホール)	

第4回 測量・地理空間情報イノベーション大会 ポスターセッション参加企業・団体

(50音順)

会社名	部門	
株式会社 アスコ大東	その他	
浅野商事株式会社	その他	
朝日航洋株式会社	その他	
あっとクリエーション株式会社	UAV	MMS
有限会社 牛方商会	GNSS	
エアロセンス株式会社	その他	
エアロファシリティ株式会社	GNSS	
一般財団法人 衛星測位利用推進センター	地上レーザ	
株式会社 エイテック	MMS	
株式会社 オーピーティー	UAV	
株式会社 快適空間FC	UAV	
株式会社 カクマル	その他	
京葉測量株式会社	GNSS	
株式会社 コア	GNSS	
株式会社 小泉測機製作所	その他	
国土地図株式会社	GNSS	
国土交通省 国土地理院	高分解能衛星	
株式会社 サテライトイメージマーケティング	その他	
CSGコンサルタント株式会社	GNSS	
株式会社 ジェノバ	UAV	
昭和測量株式会社	その他	
株式会社 タックエンジニアリング	UAV	その他
タマヤ計測システム株式会社	その他	
株式会社 中央ジオマテックス	その他	
株式会社 地理情報開発	その他	
TIアサヒ株式会社	その他	
テラドローン株式会社	UAV	
電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会	GNSS	
東京カートグラフィック株式会社	その他	
株式会社 東京地図研究社	その他	
中日本航空株式会社	航空レーザ	
株式会社 ニコン・トリンブル	地上レーザ	
日本海洋株式会社	UAV	MMS
公益社団法人 日本測量協会	GNSS	
株式会社 八州	地上レーザ	
福井コンピュータ株式会社	UAV	地上レーザ
FreaksGarage	UAV	
北斗測量調査株式会社	その他	
マゼランシステムズジャパン株式会社	GNSS	
株式会社 みすず総合コンサルタント	UAV	航空レーザ
リーグルジャパン株式会社	UAV	
RIEGL VUX コンソーシアム	UAV	
株式会社 リプロ	その他	

測量・地理空間情報 イノベーション大会

測量・地理空間情報イノベーション大会(主催:日本測量協会)が19、20日の2日間、東京・文京区の東京大学伊藤国際学術研究センターで開催されている。初日は午前10時から伊藤謝恩ホールで主催者である日本測量協会の矢口彰会長、後援者である国土交通省国土地理院の山内正彦参事官からそれぞれ



山内参事官



矢口会長

れ挨拶があった。4回目となる今回は、新技術や新ビジネスに関する情報提供のほか、新たに取り組むテーマも加わり内容も盛り沢山。また、大会では協会の9支部と会場とを結びホールでの講演を同時中継。今年は昨年を上回る2000人の参加を期

東大・伊藤国際学術センターで開催

日本測量協会

2千人の来場見込む

待っている。大会では、3次元地理空間情報技術や準天頂衛星、GNSS、ALB(航空レーザ測深機)、UAV(ドローン)測量など新技術や新ビジネスの最新動向を紹介するほか、最前線技術を担う女性技術者によるセミナー、約60件のポスターセッション、11社によるベンダーフォーラムが企画されている。

また、今回新たに取り組むテーマとして、測量界の防災分野における社会貢献事例や他分野の測量の情報共有と相互理解、測量技術者のための技術士資格(建設部門)取得、メディアを通じた地理空間情報技術の世間へのアプローチ、地域企業に対する様々な公的技術支援とその活用、人材確保。

育成一を取り上げ、その活用方法や事例を挙げて参加者に理解を深めてもらうとしている。

冒頭、矢口会長は「新技術をどうビジネスに活かすのか、担い手の育成はどうするのか、セッションに参加して議論しながら測量技術者の今後のあり方を考えて欲しい。また、この大会で何かしら新しいヒントを見つけてくれることを期待する」と挨拶。続いて、山内参事官は「様々な社会的課題に果敢にチャレンジするにあたり私達に求められるのは、測量、地理空間情報作成の迅速化、省力化、精緻化の3つのレベルアップである。これらを通じて社会の発展に寄与できればこの上ない喜びである」と述べた。

最新技術・情報を共有



日本測量協会(矢口彰会長)は19、20の両日、東京都文京区の東大伊藤国際学術研究センターで第4回「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開いている。測量・地理空間情報に関する最新の技術動向や、それを活用した新事業の展開、さらに人材育成、教育研修など、幅広い議論と情報共有の場となる。国土地理院の山内正彦参事官も「これからの測量・地理空間情報技術では迅速化、省力化、細密化が必要となる」とした上で「さまざまな社会課題の解決に果敢にチャレンジしてほしい」と期待を寄せた。

初日は「地理空間情報技術の最前線」「航空レーザ測深(ALB)とその利用」「GNSSとその利用」「準天頂衛星の最

測量・地理空間情報イノベーション大会

測量技術者の生き方考える

前線」「最前線技術を担う女性技術者」などをテーマとした講演やポスターセッション、ベンダーフォーラムのほか、「データ基盤から解析基盤へ」インフラとしての地理空間情報技術」と題して布施孝志東大教授が基調講演した。

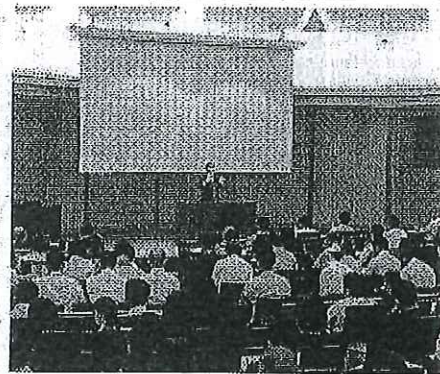
2日目は「測量界の社会貢献(防災分野)」「3D地形データ構築とその利用」などの事例紹介や講演、人材確保・育成の取り組みなどを設立。テーマとしたパネルディスカッションなどが行われる。

大会はスペシャリストの会(空間情報総括監理技術者の会)とジオメトリストの会(地理空間情報専門技術者の会)が共催。大会の模様は全国9支部の地方会場にもウェブ中継している。

測量・地理空間情報

イノベーション大会開幕

日測協



測量・地理空間情報技術の最新動向を紹介する第4回「測量・地理空間情報イノベーション大会」が19日、東京都文京区の東京大学伊藤国際学術研究センターを会場に開幕した。写真。主催は日本測量協会(日測協、矢口彰会長)。同センターにある伊藤謝恩ホールで行われる講演は全国9支部に中継される。20日までの2日間で延べ1900人の参加を見込む。

冒頭、矢口会長は「この大会では最新の測量・地理空間情報技術の動向やビジネスモデル、技術者のレベルアップや女性の活躍、担い手の育成・確保などに役立つさまざまなテーマのセッションが行われる。参加

者には測量・地理空間情報の明日を感じてもらい、仕事へのヒントをつかんでほしい」とあいさつした。

初日の午前は「地理空間情報技術の最前線」として、スパイポイントリサーチの河村幸二氏が「3次元測量・地理空間情報ビジネスの最前線」、国際航業の村木広和氏が「3D空間情報技術の実利用」をテーマに講

演。「GNSSとその利用」「航空レーザー測深(ALB)とその利用」をテーマに民間企業や行政などの担当者による講演も行われた。

午後は「準天頂衛星の最前線」「最前線技術を担う女性技術者」をテーマに企業関係者が発表した。布施孝志東大教授による「データ基礎から解析基礎へ」インフラとしての地理空間重宝技術」をテーマに基調講演し、多くの聴講者が集まった。

2日目は、同ホールで「測量界の社会貢献(防災分野)」「(3講演)、ギャラリー1、2で「地域企業の技術支援策」などをテーマにした講演が行われる。

「話題の活用技術」の発表も行われる。会場では両日にわたり、ドローン(小型無人機)などを活用した最新技術を紹介するポスター(43件)なども展示されている。

中学生～大学生
誰でも参加OK!



わたしの 住むまちを デザインする 仕事

建設技術を見て、
触れて、
体感!!

いち早く復旧に駆けつけ、
未来をつくる技術者たち

暮らしの中には
技術がいっぱい!

緊急討論

その時われわれには
何ができるのか!?

技術者が徹底作戦会議
未来のまちづくりに参加しよう!

14:00～15:00 6階

参加無料

2018 **8/9 THU.**
10:00-17:30 (受付は9時半～17時迄)
場所: 日本大学理工学部
駿河台校舎1号館5、6階



事前参加登録で
もれなく素敵な
プレゼント

建設技術を見て、触れて、体感!!



Story 1

暮らし

ふたつのストーリーを通して、
暮らしを支える建設技術を
たっぷり紹介します!

Story 2

巨大災害



高校1年生の夏野理子ちゃんが朝起きて学校に行って、コンサートに行き…さあ、この日常の中に「建設技術」はいくつあるでしょう?

理子ちゃんの1日を通して皆さんの生活になくてはならない建設関連の技術が、どこで、どんなふうに使われているのか、第一線で活躍する技術者が紹介します。

出展者

東京都

(株)オリエンタルコンサルタンツ、(株)関電工、
(株)建設環境研究所、三建設備工業(株)、
ジャパンホームシールド(株)、新菱冷熱工業(株)、
ダイダン(株)、西松建設(株)、三井住建道路(株)、
六興電気(株)

8月9日、謎の巨大生物がわたしたちの街に激突!
その瞬間、衝撃波と震度7の地震が襲い、建物が
つぶれ吹き飛んだ。地面は半径1キロ、深さ20
メートルもえぐられ、あたりは火の海と化し壊滅
状態。想像を絶する光景、かつて経験したこと
のない災害に建設産業界が立ち上がる!人命救助、
被災状況確認、復旧・復興へ。未来に向かって勇
敢に立ち向かう姿をお見せします。

出展者

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、応用地質(株)、
(株)建設技術研究所、(株)類設計室、(株)ワイビーエム、
サンコーコンサルタント(株)、三信建設工業(株)、
日特建設(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、
ライト工業(株)、日本工営(株)

女性の活躍を支える団体等

内閣府、建設産業人材確保・育成推進協議会、
(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部、設備女子会、
ソクジョの会、建設物価調査会 チームひまわり



■ 昨年の様子

【後援(一部予定)】国土交通省、東京都、(公社)土木学会、(公社)地盤工学会、(一社)茨城県建設業協会、
(一財)建設業振興基金、(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部、(一社)建設物価調査会、
(一財)国際技能・技術振興財団、(一財)国土技術総合センター、(特非)シビルNPO連携プラットフォーム、
(一社)セメント協会、(一社)全国建設研修センター、(一社)先端建設技術センター、
(一社)全国地質調査業協会連合会、(一社)地域建設業新未来研究会、(一社)東京空調衛生工業会、
(一社)東京建築士会、(一社)東京電業協会、(一社)東京都建築士事務所協会、(一社)日本アンカー協会、
(一社)日本グラウト協会、(一社)日本建設業連合会、(公財)日本建築家協会、(一財)日本建築防災協会、
(公社)日本測量協会、(一財)日本ダム協会、(一社)日本厨房工業会、(一社)日本電設工業協会、
(一社)Water-n

【協賛】ケミカルグラウト(株)

【実行委員会】(株)日刊建設通信新聞社、(株)建設技術研究所、日本工営(株)
パシフィックコンサルタンツ(株)

【共催】(株)日刊建設通信新聞社、日本大学理工学部

Web <https://www.kensetsunews.com/rikochalle>

@natu_riko

建設通信新聞 リコチャレ



-11-



日本大学理工学部駿河台校舎1号館
東京都千代田区神田駿河台1-8-14
JR中央・総武線「御茶ノ水」駅下車徒歩3分
千代田線「新御茶ノ水」駅下車徒歩3分

G 空間 EXPO2018/地理空間情報フォーラム 2018 開催概要

◆G 空間 EXPO2018

目 的：G 空間情報に関する身近なサービス・製品や最先端の技術と、それに関わる産学官の関係者が集結し、展示、講演・シンポジウム、体験イベント等を通じて、広く一般の方々に紹介する。

名 称：G 空間 EXPO2018 Geospatial EXPO2018Japan

統一テーマ：「地理空間情報科学で未来をつくる」

会 期：平成 30 年 11 月 15 日(木)・16 日(金)・17 日(土)

会 場：日本科学未来館(東京都江東区青海 2 丁目 3-6)

対 象：児童生徒から社会人まで幅広い層

来場目標：約 18,000 人～22,000 人

主 催：G 空間 EXPO2018 運営協議会

G 空間 EXPO 開催構成

G 空間 EXPO メッセージゾーン

主催者 G 空間 EXPO2018 運営協議会

地理空間情報フォーラム

主催者 測量関連 4 団体

Geo アクティビティコンテスト

主催者 国土交通省(国土地理院、国土政策局)

講演・シンポジウム等

主催者 講演・シンポジウム実行委員会

G 空間 EXPO 地方開催 札幌市(7 月中旬)・広島市(9 月中旬)

◆地理空間情報フォーラム 2018

目 的：企業・団体・機関等の展示・体験イベント等により、日本の G 空間社会を支える最先端の技術やサービス等を紹介する。

展示会場、展示規模：日本科学未来館 1 階、展示会場面積(約 1,520 m²)

出展者数、出展小間数(予定)：45 者、52 小間

ベンダーフォーラム(予定)：日時・場所未定

主な体験イベント(予定)：測量コンテスト、歩測大会、UAV フライトシミュレータによる操作体験、
測量船一般公開、他(屋内外会場)

講演・シンポジウム(予定)：主催者企画講演会(測量 4 団体)



昨年の会場内の様子



昨年の日本測量協会主催シンポジウム
-パネルディスカッション-の様子

平成30年度広報関係の取組み

(公財)日本測量調査技術協会

1. 第40回測量調査技術発表会

開催日:2018年6月1日(金) 10:10~17:20 ……終了

場所:新宿区立四谷区民ホール

基調講演:青山学院大学 教授 古橋大地氏

<http://sokugikyo.or.jp/seminar/details180601.html>

来場者数:326名 (内有料来場者 会員:235名、非会員 25名)

2. 平成30年度社会・技術動向講演会

- ・ 5/23 (水) 東京 <測量年金会館> …… 終了しました
- ・ 6/14 (木) 名古屋 <オフィスパーク伏見・りそな名古屋ビル> …… 終了しました
- ・ 6/28 (木) 大阪 <株式会社アスコ大東イトゥビル> …… 終了しました
- ・ 7/12 (木) 福岡 <都久志会館> …… 終了しました
 - ①「九州地方整備局における i-Construction の取り組み状況について」
九州地方整備局 企画部 技術管理課 課長補佐
 - ②「UAV レーザマニュアルについて」
国土地理院九州地方測量部 測量課長
 - ③「地域会員会社における最新技術・得意技術の紹介」
株式会社コイシ 取締役
- ・ 8/23 (木) 長野 <JA 長野県ビル>
- ・ 9/6 (木) 札幌 <かでる 2.7>
- ・ 9/20 (木) 仙台 <宮城県建設産業会館>

3. (仮称) 地理空間計測・活用技術セミナー 2018 in 金沢

開催日時:2018年11月30日(金) 10:00~17:00(予定)

場所:金沢市文化ホール 大会議室

4. 機関誌『先端測量技術』110号発行

報告: 地理空間計測・活用技術セミナー 2017 in 仙台 (2017/11/17)

／災害復興ワークショップ

特集: 東日本大震災あれから7年

広報関係の取組（平成 30 年度）

（一財）日本地図センター

① 夏休み地図教室

時期 7月22日（日）、23日（月）、24日（火）
8月23日（木）、24日（金）、25日（土）
会場 日本地図センター会議室
内容 小学校中～高学年向けの内容で、近隣の教育委員会の後援を得て、講師の話のほか、保護者と一緒に地図を遊ぶ。今年のテーマは、「3D 富士山を作ってみよう！」、「世界を食べる地図作り！」、「手作り地球儀に挑戦しよう！」。

② 教員免許状更新講習（文部科学省認定講習）

時期 8月1日（水）
会場 日本地図センター会議室
内容 「地図総合」
大学で地理学を専攻しなかった先生やこれまで地図に深く接する機会の少なかった先生を対象として、地図についての基礎知識を学ぶ。

時期 8月20日（月）
会場 日本地図センター会議室
内容 「地図探求」
大学で地理学を専攻した先生や地理を専門に教え、地理や地図に関して一定の知識をお持ちの先生を対象として、地図に関する専門知識をより深く学ぶ。マップリーダー研修会を兼ねる。

③ 児童生徒の職場訪問学習

時期 7月10日（火）、11日（水）、12日（木）
会場 日本地図センター会議室等
内容 目黒区立第一中学校の生徒を受け入れ、地図づくりの現場での体験学習を行う。

④ 地図倶楽部イベント「あらかわ号」乗船体験会

時期 8月9日(木)

会場 荒川知水資料館～荒川ロックゲート

内容 荒川知水資料館で荒川の知水対策を学び、国土交通省の災害対策船「あらかわ号」に乗船し、荒川ロックゲートまで通船体験する。

夏休み

《小学校 3~6 年生向け》

地図教室 2018



地図っておもしろい!
みんな一緒に地図と遊ぼう!

主催：(一財) 日本地図センター

後援：目黒区教育委員会 渋谷区教育委員会 世田谷区教育委員会 (順不同)

場所：一般財団法人日本地図センター 1 階

開催日程

2018 年

7月

22日(日)

23日(月)

24日(火)

8月

23日(木)

24日(金)

25日(土)

日本地図センター アクセスマップ

- ・ 東急田園都市線 池尻大橋駅 北口より…徒歩約7分
- ・ 京王井の頭線 神泉駅 南口より…徒歩約10分
- ・ JR渋谷駅 西口またはハチ公口より…徒歩約15分
- ・ 大坂上バス停より…徒歩約3分



周辺拡大図



0 250 (m)

地図っておもしろい!! 子どもと保護者みんな一緒に地図と遊ぼう!!

いろいろなテーマで、みんなと一緒に楽しく地図を学びます。小学校中～高学年のお子様を対象です。講師の話を聞くほか、作業や体験もしていただきます。講座内で使用した教材は、お持ち帰りいただけます。

《開催講座》

時 間	講座番号・日 付		テーマ・内 容
	7月	8月	
A (朝) 9:30 ↓ 11:30	722A 7月22日(日)	823A 8月23日(木)	「3D富士山を作ってみよう！」 ◆等高線を学ぼう! ◆地図を高さで塗り分けよう! ◆富士山3D模型づくり (小学3～4年生向け)
	723A 7月23日(月)	824A 8月24日(金)	
	724A 7月24日(火)	825A 8月25日(土)	
B (昼) 12:30 ↓ 14:30	722B 7月22日(日)	823B 8月23日(木)	「世界を食べる地図作り！」 ◆一筆書きで日本地図を描こう! ◆スーパーのチラシ調査・生産国クイズ ◆食べ物世界地図を作ろう! (小学4～5年生向け)
	723B 7月23日(月)	824B 8月24日(金)	
	724B 7月24日(火)	825B 8月25日(土)	
C (夕) 15:00 ↓ 17:00	722C 7月22日(日)	823C 8月23日(木)	「手作り地球儀に挑戦しよう！」 ◆地球の大きさはどれくらい? ◆地球儀を作ってみよう! ◆東へ西へ、まっすぐ進むとどこに着く? (小学5～6年生向け)
	723C 7月23日(月)	824C 8月24日(金)	
	724C 7月24日(火)	825C 8月25日(土)	

- ・テーマ・内容は変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・日にちが違ってても、同じ時間帯で行われるテーマ・内容は同じです。
- ・いずれの講座も学年による参加制限はありません。小学3～6年生の方でしたらどなたでも全ての講座にご参加いただけます。

《募集要領》

- 定 員 各回 20組 (先着順・複数受講可) ※お子様と保護者(計4名以内)で1組とします。お子様のみでの参加はできません。
- 受講料 1組あたり 1000円 ※受講料には教材費1セットを含みます。教材を追加購入するときは、会場で実費をお支払いください。
- 会 場 (一財)日本地図センター 1階 (東京都目黒区青葉台4-9-6)

《申込方法》

インターネットの「夏休み地図教室申込みサイト」(下記URL)にて、ご希望の日時・講座を選択し、必要事項をご入力ください。

夏休み地図教室申込みサイト▶▶▶ http://www.jmc.or.jp/natsu_2018.html

受付開始: 7月12日 (予定)

- ・申込みが完了すると、受付メールが自動返信されます。メールが届かない場合はお問い合わせください。
- ・受付は先着順です。すでに定員に達している講座は、申込み入力画面を開くことができません。
- ・キャンセル等により空きが出た場合、申込み画面が再度設定されます。なお、キャンセル発生による受付再開のお知らせはいたしません。お手数ですが、お客様ご自身で申込みサイトをご確認ください。
- ・持ち物や注意事項等は、申込みサイト内でお知らせしておりますので、ご確認ください。

□□□「夏休み地図教室」に関するお問い合わせ□□□

夏休み地図教室 係

((一財)日本地図センター 地図研究所 文化事業部 内)

電話: 03-3485-5417

FAX: 03-3485-5593

メール: ken2@jmc.or.jp

2018年

教員免許状更新講習

5月中旬より募集開始予定

(文部科学省講習認定申請中)

8月1日(水) 選択:地図総合

中学校における社会(地理的分野)、高等学校における地理の授業はもとより、小学校から高等学校までの多くの授業で地図を活用することは、授業の魅力を高め、より充実した授業を展開するために役立ちます。

本講座では、**大学で地理学を専攻しなかった先生やこれまで地図に深く接する機会の少なかった先生**を対象として、GISの基礎や地図をめぐる最新の状況を含め、地図についての基礎知識を幅広く学んでいただきます。



●主な受講対象者:小中高教諭(社会、地歴・公民) ●受講料:6,000円

●時間数:6時間 ●定員:40人

8月20日(月) 選択:地図探究

高等学校において「地理総合」が必修科目となり、小学校から高等学校までの各段階において地理教育の充実が求められる中で、楽しく効果的に地図を活用する授業はますます重要です。本講座では、**大学で地理学を専攻した先生や地理を専門に教え、地理や地図に関して一定の知識をお持ちの先生**を対象として、GISの応用や地図をめぐる最新の状況を含め、地図に関する専門知識をより深く学んでいただきます。



●主な受講対象者:小中高教諭(社会、地歴・公民) ●受講料:6,000円

●時間数:6時間 ●定員:40人

※「選択:地図探究」のカリキュラムは、マップ・リーダー研修のカリキュラムを兼ねています。一定の経験※1をお持ちの方はマップ・リーダー(地図専門指導者)の資格を得ることが出来ます。マップ・リーダーは(一財)日本地図センターが認定する資格です。
※1:マップ・リーダー認定要領参照 (<http://www.jmc.or.jp/mapleader/yoryo2017.pdf>)

※「選択:地図総合」と「選択:地図探究」は別のカリキュラムです。

※申し込み方法やカリキュラム等詳細は、5月中旬ごろ地図センターホームページ上でお知らせします。

場 所

(一財)日本地図センター 1階セミナールーム

東京都目黒区青葉台4-9-6

問い合わせ先

(一財)日本地図センター 地図研究所 文化事業部 電話:03-3485-5417 e-mail:ken2@jmc.or.jp

地図倶楽部イベント「あらかわ号」乗船体験会

■イベント概要

一級河川荒川の源流は埼玉県・山梨県・長野県の三県が境を接する甲武信ヶ岳にあります。その流路延長は約173km。河口付近では埼玉県・東京都の境を流れ、江東区と江戸川区の区境で東京湾に注ぎます。

今回のイベントでは、荒川知水資料館で荒川の治水対策を知るとともに、番所橋船着場まで国交省の所有する災害対策船「あらかわ号」に乗船して、水上から荒川について学びます。

日時 平成30年8月9日(木)

14:00～16:30

集合 荒川知水資料館アモア玄関前(東京都北区志茂5-41-1)

14時までにお越しください。

コース 荒川知水資料館アモア見学

↓
岩淵緊急用船着場より「あらかわ号」に乗船、
荒川下流へ

↓
荒川ロックゲートにて通船体験

↓
番所橋船着場着、下船、解散

募集 先着30名。定員に達し次第、締め切ります。

地図倶楽部会員のみ参加可能です。

費用 実費(数百円程度)を現地でお支払いいただく可能性があります(詳細が決まりしだい、参加者にご連絡の予定)。

■お申込

地図倶楽部事務局まで、メールまたはFAXでお申込みください。

メール: map-club@jmc.or.jp

FAX: 03-3485-5593

■交通案内

(行き)

集合場所(荒川知水資料館アモア)へはJR赤羽駅より徒歩約20分、東京メトロ赤羽岩淵駅・志茂駅より徒歩約15分。

(帰り)

解散場所の番所橋船着場より、都営新宿線東大島駅まで徒歩約10分。



地図倶楽部事務局 (一財) 日本地図センター 文化事業部 内

〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6

TEL 03-3485-5417 FAX 03-3485-5593 Mail map-club@jmc.or.jp

<http://www.jmc.or.jp/map-club.html>

雑誌86689-07



4910866890782
00600

国土地理院における平成 30 年度広報活動

平成 30 年度に実施する主な広報活動は以下のとおり。

1. 定常的な活動

(1) 報道発表

測量行政懇談会の開催や地理院地図機能改良などの国土地理院の活動について、国土交通記者会や筑波研究学園都市記者会などに報道発表を実施する。平成 30 年度は、平成 29 年度の 61 件より、増加するように工夫を行う。

(2) 広報誌の発行

毎月末に広報誌「国土地理院広報」を発行する。「国土地理院広報」は、国土地理院HPから閲覧出来き、「ことばのミニ辞典」の連載など、分かりやすい広報を心がける。

(3) SNS を用いた情報発信

国土地理院公式 Twitter (平成 30 年 7 月 17 日現在のフォロワー数:15,050) により国土地理院の情報を日々発信し、国土地理院のファンの発掘・拡大に努める。

(4) 国土地理院本館 1 階展示コーナーの運営

国土地理院本館 1 階ロビーに展示コーナーを設けて情報の発信を行う。

(5) 出前講座の実施

20 の講座について、出前講座を実施する。

2. 国土地理院ホームページによる情報発信

(1) 分かりやすいホームページ

災害対応時にバナーを作成したり、新着・更新情報を分かりやすい表現にしたり、ユーザーが分かりやすくかつホームページを日頃から閲覧する工夫を行う。

(2) アクセシビリティ対応

平成 28 年 4 月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に対応するため、アクセシビリティに配慮したウェブサイトの作成を実施する。

3. 「地図と測量の科学館」の積極活用

「地図と測量の科学館」は、地図や測量の歴史や技術等を総合的に展示する施設であり、来館者に楽しく学んで再び来ていただけるような運営を行う。

(1) 主なイベント

○常設展示のほか、特別展示室において、企画展を行う。

(平成 30 年度)

平成 30 年 3 月 16 日から 7 月 16 日まで企画展「地図で旅する日本のジオパーク」

7 月 25 日から 10 月 14 日まで企画展「山を知る」 (添付資料 1)

10 月下旬から 12 月中旬まで企画展「明治 150 年記念展示(仮称)」

平成 30 年 1 月から 2 月まで「第 22 回全国児童生徒地図優秀作品展」(予定)

○子どもから大人まで誰もが楽しみながら、「学び」「体感できる」企画を行っている。

夏休み期間中は、測量体験教室を3回行う。

10月以降は、「おもしろ測量塾」を4回行う予定。

(2) 地理・地図教育支援での活用

○「地図と測量の科学館」を活用して、小・中・高等学校の社会科教育における校外学習を積極的に受入れるなど教育現場における学習支援活動等を展開する。

○教育委員会、中学校等からの要請により、測量と地図作成に関する見学や体験学習等を実施する。

○「地図と測量の科学館」を出前講座等の生涯学習へ活用する。

4. 測量・地図の普及啓発について

(1) 全国児童生徒地図優秀作品展の実施

全国児童生徒地図作品展連絡協議会の事務局として、全国児童生徒地図優秀作品展を開催する。全国児童生徒地図優秀作品展では、特に優秀な作品に国土交通大臣賞、文部科学大臣賞を授与している。 (添付資料2)

(2) 普及啓発に係る主な行事

○「測量の日」関連行事

測量の意義及び重要性に対する国民の理解と関心を高めることを目的として、6月3日を「測量の日」とすることが制定されている。毎年6月3日を中心に各地と「測量の日」関連行事を行う。地図と測量の科学館で実施する「測量の日」特別企画は、本年度、6月3日に実施。

○国土地理院報告会

その時々課題に対する国土地理院の最新施策を紹介するとともに、測量や地図に関連する分野の第一人者の方々に特別講演をいただく国土地理院報告会を実施する。本年度は、6月6日に実施。

以上

企画展

山を知る

講演会のお知らせ

“山の高さはどう決まる？”

- ・講師 国土地理院 大滝 修
- ・日時 7月27日(金)
10:00～10:40, 13:10～13:50
- ・会場 オリエンテーションルーム
※席に限りがあります

地図・測量で山を知る

- ・山と三角点
- ・地図に描かれる山のすがた
 - ・基礎からわかる1/25,000地形図
 - ・地形図から読む登山用語
 - ・地図に描かれた特徴的な山の地形
 - ・山を描いた国土地理院の地図
- ・山で役立つさまざまな地図
- ・山の災害(火山を知る)

伊能忠敬が仰いだ山々

(伊能忠敬没後200年！)

- ・伊能図作成のため忠敬が仰いだ山々

＜開催期間＞2018年 7月25日(水)から10月14日(日)

地図と測量の科学館

入場無料

茨城県つくば市北郷1番 国土地理院構内

URL <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

交通案内

- ・TXつくば駅から関東鉄道バス5番乗り場(建築研究所・下妻駅行)乗車、約10分、「国土地理院」下車
- ・サイエンスツアーバス……研究機関等を巡る1日乗降自由の周遊バス(土日・祝日運行)
- ・無料駐車場あり(大型可)
- ・<http://www.gsi.go.jp/GSI/CONTACT-g-kotu.html>

＜開館時間＞9時30分から16時30分

＜休館日＞毎週月曜日

(ただし、月曜日が休日のときは開館し、
翌日火曜日が休館となります。)



国土交通省国土地理院

URL <http://www.gsi.go.jp/>



開催にあたって

日本の国土の約2／3を占めている山々は、四季折々に豊かな表情を見せ、私たちの暮らしに様々な恵みを与えてくれます。

平成28年には、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日」として、「山の日」（8月11日）が制定されました。これを契機に、登山やハイキングをはじめ、山に親しみを持つ人が増えています。

一方、山は、時として大きな災害を引き起こします。火山、雪崩、土石流など、山にまつわる災害は、これまでも多くの人々の命や生活の場を奪い、私たちに自然の力の大きさを見せつけてきました。

日本の国土に生きることは、まさに山とともに生きることです。先人たちは、山を深く知ろうと努力を重ね、美しく、恵み豊かで、そして恐ろしくもある「山」と共存しつつ生きる知恵を磨いてきたのです。

「地図」は、山を知るための最も身近で、頼もしいパートナーです。

みなさんも、登山やハイキングで、「どちらの道を行けば良いのかな」などと地図を確認されたことがあると思います。山と関わろうとするとき、地図は実にたくさんのことを教えてくれます。

また、災害の危険がある場所を知り、災害に備えるためにも、山の地形を詳細に描いた地図が大きな働きをします。

そして、地図は山から作られると言っても過言ではありません。

伊能忠敬は、遠くに見える山を様々な方向から測ることで地図を作りました。その基本的な手法は明治以降も引き継がれ、全国の山に三角点標石を埋設し、近代国家建設の基礎となる国土の測量が進められてきたのです。そして現在では、その三角点を基準として、空中写真などを用いて地図が作製されています。

山と地図は、まるで無二の親友のように強く結ばれているのです。

この企画展では、測量や地図の視点から日本各地の山の姿を紹介します。この企画展が、山の魅力に新たな光を当て、私たちが山をいっそう深く知るきっかけとなれば幸いです。

【主な展示内容】

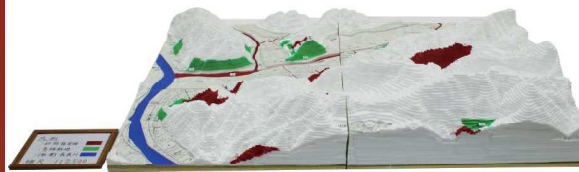
- 山と三角点
- 地図に描かれた特徴的な山
- 伊能忠敬が仰いだ山々
- 山で役立つ地図
- 火山を知る

第21回 全国児童生徒 地図優秀作品展

企画展



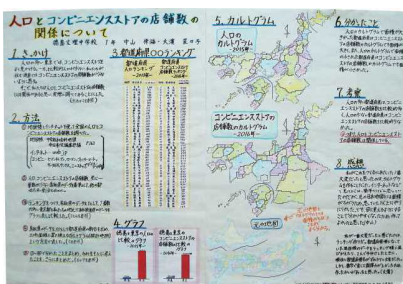
第20回 文部科学大臣賞



第20回 国土交通大臣賞



第20回 審査員特別賞



第20回 審査員特別賞

開催期間

地図と測量の科学館

茨城県つくば市北郷1番
2018 1/10(水) ~ 2/18(日)
9:30 ~ 16:30

休館日: 1/15・22・29、2/5・13

つくばエクスプレス「つくば駅」
(つくばセンター)
より路線バスで国土地理院下車

国土交通省 1階展示コーナー

東京都千代田区霞が関2-1-3
2018 1/9(火) ~ 1/16(火)
9:30 ~ 17:00

ただし、1/9は13:00から
1/16は13:00まで

※国土交通省は土日入館できません

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・
千代田線「霞ヶ関駅」下車

科学技術館 4階ギャラリー

東京都千代田北の丸公園2-1
2018 1/17(水) ~ 1/21(日)
9:30 ~ 16:30

入館は、16時までにお願ひします
※科学技術館への入館料が必要です

東京メトロ東西線「竹橋駅」下車
東京メトロ東西線・半蔵門線・
都営新宿線「九段下駅」下車

※国土交通省と科学技術館では、大臣賞候補作品を展示します。

主催

全国児童生徒地図作品展連絡協議会

国土交通省国土地理院

後援

文部科学省 国土交通省 (公社) 日本地理学会 日本地図学会

問い合わせ先

事務局 国土交通省国土地理院広報広聴室

TEL 029-864-1111(代表) 内線 2641・2642



「全国児童生徒地図優秀作品展」の概要

全国児童生徒地図優秀作品展は、全国の各団体から推薦された「児童生徒の地図に関する作品」を国土地理院「地図と測量の科学館」ほか2会場において展示することで、各地の地図を使った教育や児童生徒の地図についての取り組み方などを広く紹介し、より一層の地図の普及啓発を促進する目的で開催するものです。

作品展に参加する団体は、全国児童生徒地図作品展連絡協議会加盟の団体（正会員）及び連絡協議会が認める団体（特別参加団体）です。

＊全国児童生徒地図作品展連絡協議会は、正会員（以下の団体）と特別会員（（一財）日本地図センター、（一社）地図協会、（一社）地図調製技術協会）で構成され、国土地理院が事務局をしている組織です。

《正会員》

第38回 札幌市児童生徒社会研究作品展（札幌地区）

「札幌市児童生徒社会研究作品展」は、札幌市の児童生徒の社会的なものの見方や考え方を育てると共に表現する力を高めるために、自由研究を中心に社会科・生活科及び総合的な学習の時間等の内容を生かした作品を募集し、将来のよき札幌市民・北海道民の育成につながることを願って、毎年9月～11月に開催されています。

【主催：札幌市教育地図研究会】

第49回 仙台市中学校生徒地図作品展（仙台地区）

「仙台市中学校生徒地図作品展」は、仙台市内の中学校生徒が主題図、高度分布図、土地利用図、地図模型の作成を通して、地図についての理解と地理的な考察力を育てるとともに、資料活用能力を高めることを目的に毎年11月～12月に開催されています。

【主催：仙台市中学校社会科研究会】

第21回 多摩市身のまわりの環境地図作品展（多摩地区）

「多摩市身のまわりの環境地図作品展」は、日常、触れたり感じている身のまわりの生活環境を取り上げ、自分で観察し、地図として表現することにより、環境の捉え方を身を持って学び、環境に対する理解を深めることを目的に毎年11月～12月頃に開催されています。

【主催：多摩市身のまわりの環境地図作品展運営委員会】

第23回 児童生徒地図作品展（岐阜地区）

「児童生徒地図作品展」は、岐阜県内児童生徒の自主的な研究活動を奨励し、地図に関する興味や関心、活用能力を高めることを目的に10月～11月に開催されています。

【主催：岐阜県図書館】

第16回 神戸市小学校社会科作品展（神戸地区）

「神戸市小学校社会科作品展」は、各学年の学習能力に応じ、身の回りの社会事象を歴史的視点・地理的視点・環境的視点などから考察し、多様な発想で表現することで、神戸市内の小学生が、社会科への興味関心を高めることを目的に毎年9月に開催されています。

【主催：神戸市小学校教育研究会社会科部会】

第19回 鳥取県児童生徒地域地図発表作品展（鳥取地区）

「鳥取県児童生徒地域地図発表作品展」は、県内の小・中・高・特別支援学校の児童生徒の地域に対する関心を喚起し、野外における観察の能力・洞察力・表現力を高め、同時に地図利用及び地図作成能力の向上を目的に、9月～12月に鳥取県内4箇所において開催されています。

【主催：鳥取県地域社会研究会】

第25回 児童・生徒の地図作品展（徳島地区）

「児童・生徒の地図作品展」は、徳島県内の小・中・高校の児童生徒が作成した地図類を募集し、優秀な作品を展示して、地理教育・地図教育の発展を図ることを目的に毎年11月末～12月初めに開催されています。

【主催：徳島地理学会】

第27回 私たちの身のまわりの環境地図作品展（全国地区）

「私たちの身のまわりの環境地図作品展」は、小・中・高校の児童生徒を対象に、身のまわりの環境について関心を持ったこと、考えたこと、調査したことを地図にすることを通して、地図や環境に対する関心を深めてもらうことを目的に毎年10月に開催されています。

【主催：環境地図教育研究会】

第18回 いばらき児童生徒地図作品展（茨城地区）

「いばらき児童生徒地図作品展」は、茨城県の小・中学生が身のまわりの環境や地域の姿を自ら観察・調査し、それらを地図として表現することにより、環境や地図さらには地域に対する関心を深めることを目的としています。11月から12月頃にかけて作品展が開催されています。

【主催：いばらき児童生徒地図研究会】

第11回 とやまみんなの地図作品展（富山地区）

「とやまみんなの地図作品展」は、富山県内の小・中学生を対象に、身のまわりの環境や地域の姿を観察・調査し、それらを「地図」として表現することにより環境や地図、さらには地域に対する関心を深めることを目的に毎年11月に開催されています。

【主催：とやま地図作品研究会】

第11回 地域の安全安心マップコンテスト（全国地区）

「地域の安全安心マップコンテスト」は、小学生が保護者や家族、地域住民、教員と一緒に地域の安全安心について調べ、マップを作成することで地域の安全安心に対して関心を持っていただくことを目的に毎年8月末から作品を募集し、10月の表彰式を経て、12月まで作品展を開催しています。

【主催：立命館大学歴史都市防災研究所】

あこう絵マップコンクール2017（赤穂地区）

「あこう絵マップコンクール」は、子供たちが自分たちの住むまち「赤穂」を探検したり、まちなみ、歴史を調べたりして、その感性や創意工夫を生かした絵マップを作ることを通じて、子供も大人も「赤穂」の魅力を再発見し、郷土愛を育成し、まちづくり意識を醸成することを目的に毎年8月に赤穂駅ギャラリーや赤穂市民病院で展示会が開催されています。

【主催：あこう絵マップコンクール実行委員会】

第56回 地図ならびに地理作品展（広島地区）

「地図ならびに地理作品展」は、小・中・高・特別支援学校等の児童生徒に地図ならびに地理作品の制作を通して、地図に対する正しい理解を持たせると共に、それを活用する能力を身につけさせることを目的に毎年9月に開催されています。

【主催：広島県地理作品展運営委員会】

第11回 大分市児童地図作品展（大分地区）

「大分市児童地図作品展」は、児童が地域の姿を自ら観察・調査し、それらを地図として表現することにより、地図への親しみを深めると共に、児童の地図利用及び地図作成能力の向上を図ることを目的に毎年12月末に開催されています。

【主催：大分市小学校教育研究会社会科部会】

《特別参加団体》 第9回：社会科児童作品展（滋賀地区）

【主催】滋賀県小学校教育研究会社会科部会

第13回：わがまち探検マップコンクール（岐阜市地区）

【主催】（一財）岐阜市にぎわいまち公社